

元治元年六月十六日より元治元年六月十七日まで

P8311156 left

六月

十六日酉 晴夜半雷雨

桃・花家松盛亭初て来り、鋏児入門せしめ束脩を行い設品あり、出 殿泉□両閣老御出勤  
善福寺より藤佐帰り来り、匣ミニストル兔に角帰港の上談判の積り成る旨也、□窪へ□□迎の  
もの遣し

詣□其外小品等投与す、右と行違い駕送せ□れ帰宅あり、匣ミニストル帰港せし旨、宿寺詰より  
申来る

十七日戌 雲午下雨一過

宅調、大河原(駿)身分の義に付来る按じ申聞る、京地出立別手取締役より書状(八封)致来る内一通  
享より一書届く

同人宅状小笠原宅状とも二封引拔残五封は豊洲方へ配達の義頼み遣し、且昨宿寺より申越  
段をも申

遣す柳亭稽古に来る、大袂時計(払物)を示さる豫(よ)り□く例の役也、寺山へ志願筋の義にて一  
書遣わす、富沢

叔母来り鶏卵一箇(はこ)蒸菓子等持来午餐を設く、寺山来り小品持来、志願筋の義

( )内は細字双行(二行に小さい文字で二行書き)などの場合です。

□印は解読未了の文字です。私の実力ではすぐ解読できません。